

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会

第103回 10月27日(土) 13:30~ くらしの植物苑東屋

「江戸・東京の野菜」 加藤陽子氏 (荒川ふるさと文化館)

第104回 11月24日(土) 13:30~ くらしの植物苑東屋

「江戸の菊」 平野 恵氏 (文京ふるさと歴史館)

くらしの植物苑今週の見どころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

苑内で見られる花

クコ ハナオクラ ワタ アイ オオボウシバナ シオン フジバカマ ヒガンバナ シロバナマンジュシャゲ など

果実

カキ オニグルミ クリ トチノキ イイギリ ワタ アケビ ヤブツバキ ムベ ゴボウ など

シュウメイキク (キンポウゲ科イチリンソウ属)

山の林縁などに生える多年草で、秋にキクに似ている花が咲くので秋明菊といえます。また、京都北部の貴船に多かったことから貴船菊ともいえます。本来はがく片が30枚ほどあるのですが、苑内のものはがく片が少ないです。



シュウカイドウ (シュウカイドウ科シュウカイドウ属)

中国原産で庭に植栽できる耐寒性のベコニアです。地下の塊茎で冬越しをします。茎頂に近い葉腋から花柄をだし、二又分枝をくりかえしながら、雄花を咲かし最後は雌花を垂下して終わります。



トウガラシ“鷹の爪”(ナス科トウガラシ属)
 果実が赤く、房になって直立する品種で、
 辛味は強く、辛味成分の原料に用いられ
 ます。



エゴマ (シソ科シソ属)

シソの変種で、やや臭いがあります。葉はシソよりやや大型で、茎葉には白
 い毛があります。白い多数の花を穂状に咲かせます。種子には油分があり、
 荳油として油紙、雨傘などに用いられます。



ガマズミ (スイカズラ科ガマズミ属)

山野に普通に見られる落葉低木で、
 固体変異が大きい。特有の臭いがあり
 虫がむらがります。果実は赤い球形で鳥がよく食べに来ます。枝には
 柔軟性と強度があり、道具の柄やか
 んじきの材料にします。

